

平成  
14年度

# 環境マネジメントシステムの取り組み

市では、環境保全・環境汚染防止に配慮した活動を継続的に進めていくために、環境マネジメントシステムを運用しています。今回は、平成14年度1年間の主な取り組み状況をお知らせします。

左記の表のほか、市では省資源、省エネ、リサイクルの推進に取り組みました。平成10年度対比で事務用紙使用量を約100万枚(A4サイズ)、公用車用燃料使用量を約12,000リットルなど削減しました。また、平成13年度から取り組んでいる、グリーン購入も積極的に進めています。

その結果、昨年1年間に約196万円の経費節減と約30トンの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出を抑制し



ています。「グリーン購入」とは、購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境に与える影響を考え、その影響ができるだけ小さい製品やサービスを、優先して購入することです。

問 資源リサイクル対策室  
☎49 3111 (内線366)

## 「環境に配慮したまちづくり」を進めるために行った主な事業

項 目	平成14年度実施状況	
環境が良く住みよい大館をつくるための環境保全4事業などの実施	不法投棄の監視など環境保全に関わる各種事業の実施	
二酸化炭素が増えることで引き起こされる地球温暖化対策の実行	二酸化炭素の排出量を12年度対比で5.4%削減	
立派な木を育てることでCO <sub>2</sub> の増加を抑制する	市有林除間伐事業	市有林除間伐24.93ha 実施
	民有林間伐補助事業	民有林間伐72.85ha 実施
水質汚濁を防ぐ	農業集落排水事業	四羽出地区の排水施設完成
	合併処理浄化槽設置整備補助事業	設置補助基数120基
	公共下水道整備事業	公共下水道の普及率24.7%達成
水洗化工事をする事で各家庭からの排水による水質の汚濁を防ぐ下水道普及事業	水洗化戸数年間280戸新設	

## 環境にやさしい生活

<p>通勤で</p>  <p>公共交通を利用した通勤 鉄道やバスなら、自家用車に比べて、ひと1人を通ぶ際のCO<sub>2</sub>排出量も格段に少なくて済みます。職場まで近いなら、健康のためにも自転車通勤がオススメです。</p>	<p>仕事帰りに</p>  <p>包装の少ない商品を選ぶ 食品などは過剰包装のものを避け、余分なエネルギーや農業を使わない地場の旬のものを。</p>
--	--

## エコ交通のすすめ

毎日の通勤・通学はどうしていますか。環境を守るために、一人ひとりが取り組める身近なこと、それは移動する際に自家用車を使わないことです。自家用車の代わりに、徒歩や自転車、鉄道やバスを利用することで、環境に与える影響を減らすことができます。

は、7月から来年3月までの毎月第4金曜日を「エコ交通の日」とし、美の国あきたを守るために県民一丸となって、エコ交通に取り組むこととしました。皆さんのご協力をお願いします。エコ交通……二酸化炭素発生量の少ない交通手段のこと。

県や関係団体で組織する「美の国あきたエゴ交通推進協議会」で

問 美の国あきたエゴ交通推進協議会  
☎018 860 1282

## 「任意合併協議会に参加します」



6月19日、川口小坂町長が小畑大館市長を訪ね、7月14日に設立が予定されている任意合併協議会への参加を伝えました。これにより、大館市、比内町、田代町、小坂町の1市3町で、合



併した場合の「新しい市」の未来像が検討されます。なお、小坂町は、鹿角市との1市1町の任意合併協議会にも加入することとしています。

問 合併推進室  
☎49 3111 (内線378)